

産総研と地域企業

産業振興で連携



55

初期感染でも検査診断

スティックスバイオテック

糖鎖に吸着

スティックスバイオテック（鹿児島市）

に付けた「糖鎖固定化金ナノ粒子」を開発し

るため、痛みを伴うなどの早期治療により、重症化を防止できる。100万〜1000万個のウイルスがいないと感度が判明しにくく、感度が高いと診断される場合が多い。

検出を高速化

当社も

ウイルス検出

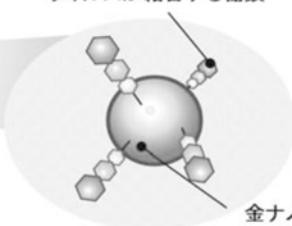
は現在最も高感度で正確性が高いといわれるPCR遺伝子増幅法にSGNPを介してウイルスを多数結合させて、ウイルスを捕捉する。

産総研生命工学領域研究
戦略部イノベーション
コーディネータ
新聞 陽一

一言メッセージ

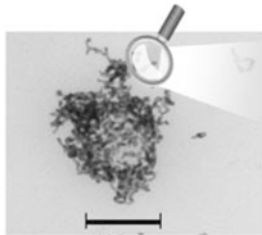
スティックスバイオテックの創業当初から、共同研究の他、糖鎖関連の学会や人事交流などでも連携を深めてきた。産総研の基礎技術をいくつも組み入れて事業を展開してきた。今後の更なる発展を期待している。

ウイルスが結合する糖鎖



金ナノ粒子

糖鎖固定化金ナノ粒子(SGNP)



鳥インフルエンザウイルス
AIV A/H4N6

SGNPを介してウイルスを多数結合させて、ウイルスを捕捉する。以上のようにして、

家畜にも応用

以上のようにして、

検体採取後20分以内にも、院内感染の防止にいう、現在行われている検査と同程度の時間で、はるかに高感度と正確さでウイルスを検出できるシステムを完成させた。こや、農場での豚流行性のウイルス検出技術の下痢など家畜のウイルスは、既に鹿児島大学病院内や鹿児島市内の小児科、その応用範囲を拡大している。

（スティックスバイオテック代表取締役・隅田泰生）
（木曜日に掲載）

唾液からもウイルス検出

液などの体液と混合し、金ナノ粒子と結合して重く、検体採取に痛みを伴わない唾液を使用し、検査が可能になる。

ウィルスが入った唾液中のウィルスでも、10個以下のウィルスでも正確に検出できる。また、高感度のため早期診断が可能となる。鼻粘膜からウィルスを採取する前に薬剤を服用する